

いしずえ

2022 10・11・12 月号
〈 合併号 〉

第640号 2022・12・25 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-33-32 TEL 03-3314-5688 FAX 03-3314-8954



クリスマス 新年

おめでとうございます



エジプトから出る

主任司祭 高木 健次

聖書は、救い主はユダヤのベトレヘムでお生まれになったと語っています。マタイによる福音では、東方からの不思議な訪問者が去った後、ヘロデ王が幼子を殺そうとしているので、天使のお告げによって、保護者であるヨセフが幼子イエスと母マリアを連れてユダヤの地を後にしてエジプトに逃れました。ヘロデ王の死後、また天使のお告げによってエジプトから帰ってきました。しかしユダヤにもどることを恐れて、最終的にもつと北のガリラヤに落ち着いたということになっています。その後イエスは、洗礼者ヨハネから洗礼を受けるために、ユダヤの荒野野のヨルダン川に行ったり、悪魔にエルサレムの神殿の屋根の上に連れていかれたりしますが、本格的にユダヤの地にもどるのは、エルサレムに上って十字架にかかる時です。

これらの地理的な移動から象徴的な意味をくみ取ることができるように思えます。ユダヤは自分が生きるべき本来の場（生き方）。エジプトは緊急避難の場（生き方）。ガリラヤは本来の場に行くか、緊急避難を続けるかの選択の場。旧約聖書は、緊急避難がはらむ危険を語ります。飢饉のためにエジプトに避難したイスラエルの先祖は、そこにずっととどまってしまう、十世代後には奴隷になってしまいました。今だけのもりが、いつの間にかそこから抜け出せなくなってしまうというわけです。あくまで例えですが、一時的のもりで外部の会社に、お金をとって場所を貸した教会が、収入を手放せないで、いつの間にか会社の言いなりになってしまうようなものです。

コロナ禍にあつて今年もクリスマスミサへの参加を所属信徒に限らざるを得ませんでした。これも、ミサの精神とは相いれないエジプトであることを忘れず、来年はそこから出ていくことを目指したいと希望します。